



2007年9月7日

各 位

会社名 イオン九州株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松井 博史  
(JASDAQ・コード番号 2653)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役 経営企画本部長  
宇都宮 剛  
電話 092-441-0611  
当社の親会社 イオン株式会社  
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
(東証一部・コード番号 8267)

## 2008年2月期 中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2008年2月期(2007年2月21日～2008年2月20日)の業績予想について、2007年4月4日付当社「2007年2月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 1. 2008年2月期 業績予想の修正等

#### (1) 中間期(2007年2月21日～2007年8月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	108,000	100	300
今回修正(B)	105,442	81	223
増減額(B-A)	2,558	181	77
増減率	2.4%	-	-
(参考)前中間期実績	102,417	207	182

#### (2) 通期(2007年2月21日～2008年2月20日)

(単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	225,000	2,000	790
今回修正(B)	240,000	2,000	860
増減額(B-A)	15,000	0	70
増減率	6.7%	0.0%	8.9%
(参考)前期実績	210,348	855	213

(3) 修正理由

【 中間期の修正理由 】

春先の天候不順により季節商品が伸び悩んだものの、食品が好調に推移した結果、第1四半期(2月21日～5月20日)の売上高はほぼ計画通りに推移いたしましたが、第2四半期(5月21日～8月20日)において長梅雨や台風の影響を受け、衣料を中心に計画を下回る見通しとなりました。

なお、GMS事業における当中間期の既存店売上の対前年伸び率は100.2%、S u C ・ H C 事業では96.7%となる見通しです。

結果、当中間期の業績予想を営業収益1,054億42百万円、経常利益は81百万円の損失(前回予想より1億81百万円下回るものの、前年より1億26百万円の改善)、中間純利益は2億23百万円の損失(前回予想は3億円の損失)に修正いたします。

【 通期の修正理由 】

8月21日をもちまして当社は株式会社マイカル九州と合併し、新生「イオン九州株式会社」としてスタートいたしました。

本年度下半期は、新生イオン九州として新たな成長をめざし基盤づくりの時と位置づけ取り組んでまいります。

通期では合併による店舗増(サティ9店舗。)による売上増等を見込み、営業収益2,400億円、経常利益は20億円、当期純利益では8億60百万円に業績予想を修正いたします。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づき算出した値ですので、実際の決算とは異なる可能性があります。

以 上